

「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された際の授業等の取扱いについて

- ・本情報の運用開始（平成 29 年 11 月 1 日）に伴い、従来あった東海地震のみに着目した情報（東海地震に関連する情報）の発表は現在行われていない。
- ・本情報が発表された場合、原則として授業等の教育活動については継続する。
- ・本情報が発表されたときは、地震への備えを再確認すること。

登下校中に大きな地震が起きた場合の対応について

○地震の揺れを感じたら

- (1) 周囲の状況を十分に確認して、「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」「移動しやすいもの」から離れてしゃがむ。
 - ・自転車に乗っている場合はすぐに降りる。
 - ・バス・電車・船に乗っている場合は、手すりや座席にしっかりつかまる。
- (2) バッグなどで頭を守る。

○地震の揺れが収まったら

- ・崖や山崩れのおそれのある場所、河川、海岸からできるだけ離れ、高台に避難するか最寄りの避難場所に行く。
- ・公共交通機関利用者は、乗務員の指示・誘導に従う。
- ・登校するか、帰宅するか、その場で待機するかは、状況を判断して安全な行動を選ぶ。

東海地震等大規模地震が発生した場合について

- ・東海地震等大規模地震が起きた場合は、学校から連絡があるまで待機とする。
- ・東海地震等大規模地震発生後は、災害用伝言ダイヤル等を利用して、必ず学校へ被災状況等を連絡する。

災害用伝言ダイヤルの利用方法

①伝言の録音（自分の状況の連絡） 方法

1 7 1 - 1 - 市外局番 - 自宅固定電話の番号
(携帯電話での利用は通信事業者により異なる)

②伝言の再生（学校からの連絡の確認） 方法

1 7 1 - 2 - 0 5 6 9 - 6 2 - 0 1 3 9
(内海高校の電話番号)